



飯地の風土の中で学べる「あたりまえ」に感謝して

校長 三輪 太雄



収穫の秋です。春に苗を植え、水をやりながら暑い夏を越し、秋を迎えて大きく立派に育った「さつまいも」を、みんなの手で掘って収穫しました(左・中上下写真)。そして、その実りに感謝し、おいしい「焼きいも」にして、こども園の園児もいっしょに、みんなで味わって食べました(右上下写真)。
毎年行っていますが、年々手際がよくなります。土にまみれながら、いもを傷つけることなく、根まで掘り起こして獲る手つきは鮮やかです。焼きいもにするための「洗う→濡らした新聞紙で包む→アルミ箔で包む」の行程も、高学年を中心に、ベルトコンベアー作業のように高速で進みます。実に見事な光景です。その姿は、紅葉の始まった飯地の美しい秋の風景に見事にマッチし、輝きがさらに増します。「飯地の風土だからできること」「飯地の子だからこそできること」…、その「あたりまえ」にたくさんの感謝です。

皆さんもご存知のとおり、来たる11月8日に、「第一回 天空の里飯地高原・ミニマラソン大会」が開催されます(実行委員長の山口鉦一さんからの依頼で、私も役員に名を連ねさせてもらっています)。案内チラシの言葉が素敵です。

『岐阜県恵那市飯地町は標高600メートルの高原の町です。くねくね坂道を登ると、のどかな里山が広がります。コンビニも信号もありません。でも、おいしい里の恵みと、気のよい人たちがたくさんいます。そんな町の中心に広がる広～い田んぼの間を走りぬけてみませんか？ 里山の魅力全開でお待ちしております！』



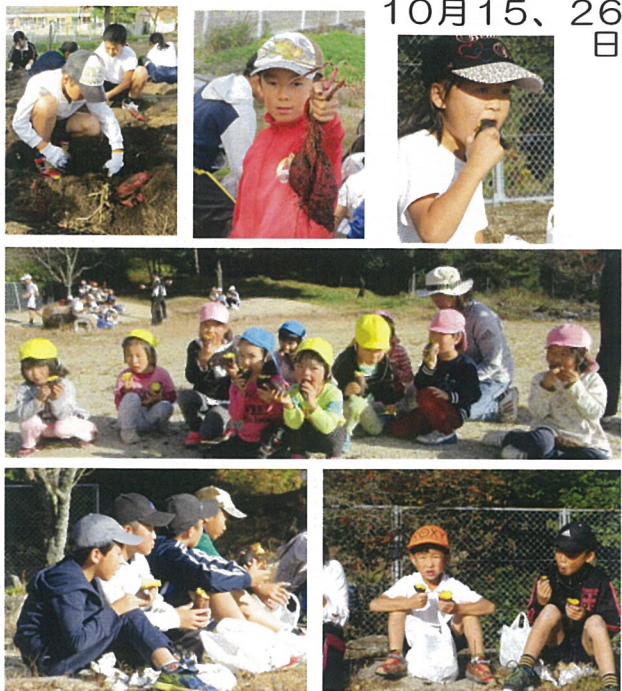
「飯地の魅力」「飯地の素敵な風土」…については、今まで何回も、学校だよりに書かせてもらっています。子どもたちに“郷土愛”を育てるために、そこに「あたりまえにあるものの価値」について気付かせ、そのあたりまえを受け継ぎ大切にしてきた方々に「感謝すること」を教えていかねばならないと思っています。私の心の中には、『学校だより・平成26年度第4号(平成26年7月1日)』に掲載させてもらった「偉大なる教室」のフレーズがいつも鳴り響きます。

『飯地と言えば、過疎の村・へき地の里・恵那のチベット…と言われるけれど、少年よ嘆くことなかれ。誇りをもて、勇気を出せ。過疎のうれい何がある。(中略) 春・窓いっぱいにはさしこむ太陽 おおらかに学べと吹き込む南風 夏・強くたくましく鍛えよと 励ます声は蝉しぐれ 秋・風に舞い込むもみじ葉は 情緒豊かに育てとさとする母心 冬・きびしさに耐えよ忍べと降る雪は 自然のうつ愛のむち 大自然に包まれた学校。こんな立派な教室がどこにある。高原偉人を生ず。私はこう訴え、こう信じます。』

11月21日(土)の『いいじっ子発表会』では、体育館のステージにおいて、学級ごとに、「ふるさと飯地」について学習し、発見・再発見したことを中心に、発表します。運動会同様、全家庭に案内を出させていただきます。一人でも多くの方々にご来場いただき、子どもたちといっしょに、「ふるさと飯地」について、それぞれに想いを巡らせてもらえればと願っております。

○いも掘り、やきいも大会

10月15、26日



今年のサツマイモは、「紅アズマ」。5月下旬、みんなで苗植えをしました。ほどよい大きさに成長していました。やけ方はまちまちでしたが、甘さは十分。飯地小学校の児童だけで食べられないほどの量があったので、飯地こども園を招待して一緒に秋の風を感じながら食べました。

26日、子どもたちは、上級生の指示のもと、洗って新聞、アルミ箔で包むという作業を、みんなでてきぱき行い100個以上の芋を朝の15分ほどでやり遂げました。すばらしいチームワークでした。子どもが活躍し、食べる楽しみも味わる飯地小ならではの行事となりました。

○後期委員会スタート

(児童会)



(体育・美化委員会)



(図書・学習委員会) (保健・給食委員会)

本校では、3年生以上の22人が児童会や委員会に所属して活躍します。卒業まで、いろいろな委員会、上級生や下級生とともに活動しますが、ここでも「なかまと関わること」や「集団の一員として責任を果たす」という大事なことを経験しています。

「笑顔いっぱいの学校」

「地域に貢献する」

「たくさんの本を借りてもらおうイベント」
「みんなが健康で暮らせるような取組」などそれぞれがめあてをもって活動を計画しています。自分たちの手で自分たちの生活を「よりよくする」ための活動を子どもたちはやろうとはりきってスタートしました。

○社会見学 10月23日



複式学年で行く社会見学。低学年は「名古屋港水族館」、中学年は「リニア鉄道館」、高学年「トヨタ自動車」でした。イルカやシャチの大きさにビックリしたり、新幹線などの車両に感激したり、高効率・高精度の自動車づくりを見たり、教室では学べないことをどの子も学べたことと思います。

また、見学先だけでなく大切な体験学習として、低・中学年は、恵那駅から自分で切符を購入して改札を通り、一般の人と共に電車、地下鉄に乗って行きました。今は、「優先席」に座ってもいいだろうか、電車の中では小さな声で話そうなど、社会のマナーについて学ぶことができました。

行事予定

<11月>

4日(水)「歯科講話」(5, 6年生)
第1週 命を守る訓練
9日(月)歯科検診
13～19日 家庭学習充実週間
21日(土)いいじっ子発表会、おにぎりの日

<12月>

2, 3, 4日(水木金)個別懇談
3日(木)子ども展参観、芸能祭(文化センター)
10日(木)持久走大会
22日(火)スケート教室

◇表彰のお知らせ(敬称略) (学年)

☆おめでとうございます。

第34回火災予防ポスター(恵那市消防)

<恵那消防署長賞> 4年女子

平成27年度「税に関する作品」

<岐阜県納税貯蓄組合連合会長賞>

6年女子

